

柴田町内での地域支え合い活動のごく一部を紹介します

住み慣れた場所で、「元気で人生100年時代」を目指すために、日常生活の中で、困ったときのお互い様の支え合いとして地区内での生活支援活動があります。自分にあったサービスを10年先、20年先を見据えて考えてみてください。

船岡中校区(気軽にあつまり、地域情報の共有の場)

各行政区にとって、集会所は、災害時には自主避難所、いこいの日等の地区のみなさんの集いの場や打合せ等の場になっている身近な「居場所」です。行政区によって、「集会所開放日」を設けて、散歩がてらやなじみの顔を見にきたよと立ち寄り、気負いなく気軽に来れる日を設けている行政区を紹介します。

1区:第2水曜日 9時30分~11時30分 参加費100円(菊地 正浩区長)

みんなの居場所として、子どもから元気なシニアまで気軽に立ち寄れる集会所での「おしゃべりの場」。世代間交流も含めみんなでわいわいと楽しみましょう。

3区:第1・第3日曜日 10時~12時(渡邊 福男区長)

4月からは第3日曜日を「三区サロン」として各自持参のセルフお茶会を開催

6A区:第4金曜日 10時~12時(島貫 安三区長)

「ロック栄区(6A区)麻雀・縫物・おしゃべり等
「区長さんいたがいん」と散歩がてらに立ち寄れます。



槻木中校区(18B区:おしゃべりウォーキング)

18B区で気の合う者同士が、時間を決めておしゃべりしながらウォーキングしてます。途中で出会ったら、「元気?」「今、何してたの?」と声かけ、立ち止まっておしゃべり、ウォーキングしては止まっておしゃべりしています。そして、地区内にウォーキングの輪が広がっています。防火用水の所で、腰かけておしゃべり、他のグループと出会った所で、またおしゃべり。飼い猫の話や夕飯のおかずの話、体調のことなど、話題はつきません。

ぜひ、みなさんも始めてみませんか? 楽しいですよ。(18B区 齋藤 達義区長)



船迫中校区(29C区:わんわんパトロール隊発足)

1月号「町内だより」にて周知し、なんと10匹の愛犬家が登録していただきました。愛犬との散歩に「わんわんパトロール隊」腕章をつけて、地域の見守り活動をする。特別な義務はなく、いつもの散歩コースでの「ちょボラ」です。(29C区 高田 三郎区長)



「地域情報の取材にお伺いしますので、お気軽に声をかけてください。住民のみなさんおひとりおひとりが柴田の「お宝」です。」



生活支援体制整備事業広報誌
「みんなの広場」

第7号発行日 令和7年3月31日

発行・編集 社会福祉法人柴田町社会福祉協議会
〒989-1606 柴田町船岡字中島68(柴田町地域福祉センター)
TEL:0224-58-1771 / FAX:0224-58-1070
生活支援コーディネーター室 TEL:0224-87-7884



令和7年3月号

Vol.07

みんなの広場

生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)通信



わんわんパトロール隊スタート~見守るWAN! (29C区)



生活支援コーディネーターが地域に出向いて「通いの場」や生活支援などの地域資源や元気な笑顔を取材させていただきました。ありがとうございました。

「住み慣れた地域で元気に楽しく暮らし続けるための介護予防」「困ったときのお互いさまでの支え合いの生活支援」を紹介します。

地域の話
「男性活躍中！」



シニアパワーで男性も活躍しています。
興味のある方は見学に来てみてください。



しばた健康麻雀の会

代表:高橋 利雄さん

柴田町社会福祉協議会主催「コミュニケーション麻雀」講座参加者有志で結成。

当時はコロナ禍前で、回を重ねるごとに男性の参加が増えていき、現在は女性の参加者も加わり、毎週水曜日の午後に地域福祉センターで開催しています。登録25名。

ボランティア活動としては、社協事業の毎月1回開催しているコミュニケーション麻雀「雀のお宿」の指導者として地域や福祉施設、寺カフェ等で活躍しています。

男性会員が多いため、フレイル予防として、毎回開催前に「ラジオ体操」を定期的に行い、地域包括支援センター職員さん等を講師に招き、ミニ研修会も開催しています。見学体験は毎回やっていますので、気軽に参加してみてください。

場所:地域福祉センター 開催日:水曜日
参加費:その都度 100円
連絡先:柴田町社会福祉協議会ボランティアセンター 58-1077



しばたおもちゃ病院

代表:佐竹 孝一さん

「子どもの笑顔と達成感は、ドクター冥利です」[物を大切に大切にほしい]SDGsの観点から20年前に前加藤院長の指導のもと、社協のボランティア講座受講生で「しばたおもちゃ病院」が現在に至っています。(7名登録)

ドクターたちが町内(ゆるぶら・カラスひろば・社協子育てきらら等)で活躍しています。お気に入りのおもちゃだからこそ、たくさん使い、壊れても修理してまた手元に来た時の子どもの笑顔を見た時の達成感がドクターの醍醐味です。興味のある方は、見学体験どの会場でも可能です。おまちしております。

場所:ゆるぶら・カラスひろば・社協子育てきらら等
参加費:無料
連絡先:070-6492-1785(佐藤)



いきいきふたみ会(いきいき学園23期同期会)

代表:中村 知一さん

仙台大学を会場に学んだ23期生、柴田町地域福祉センターが活動のホームなので、福祉センターの除草活動や地域活動支援センターしらさぎの支援活動として古紙回収作業のボランティア活動をしています。一目千本桜の花見会や研修会等、活動の秘訣は「チームワーク」と「青春のキモチ」です。

みやぎいきいき学園仙南校卒業生が活躍

宮城いきいき学園では、2年間の学園生活をつづけて、「健康で豊かな人生の創出」「地域貢献活動への参画」「人間形成の醸成」の具現化を達成することを目的として、卒業生にも地域貢献活動を進めています。



場所:柴田町地域福祉センター等
年会費:2,000円

他にも「いきいき仙南傾聴の会」や「いきいき花木会」も活躍中です。

※「宮城いきいき学園」への問合せ先/宮城県社会福祉協議会 いきがい推進センター 宮城いきいき学園事務局
TEL.022-225-8477

「柴田町生活支援・介護予防体制協議体」



協議体とは、生活支援コーディネーターと地域でさまざまな活動をしている人同士で情報の共有や連携の強化を図ることで、地域づくりについて話し合うあつまりです。地域の支え合いの輪を広げ、地域のみなさんが安心して暮らし続けられるよう今後も活動していきます。

協議体委員長 柴田町社会福祉協議会長 武田 則男さん

協議体では、高齢者の方が地域で生活し続ける上で、今後直面するであろう生活課題が話し合わせ、第2回の会議では「移動の問題」に焦点化した話し合いがもたれました。買い物、通院、集会所での行事への参加など、その足としての交通手段をどのように確保していくか、課題は広がりが増すばかりです。今後、解決に向けた取り組みに寄与できる協議体の話し合いにしたいと考えています。

協議体メンバー

副委員長:木島 基子さん(柴田町民生委員児童委員協議会長)

委員:関 隆さん(柴田町区長会長)・小嶋 誠さん(柴田町商工会課長)・荒井 健作さん(柴田町シルバー人材センター主査)・永倉 美香さん(みやぎ県南医療生活共同組合サービスセンターあおぞら施設長)・小玉 敏さん(柴田町ボランティア・NPO活動連絡会長)・日下 鉄男さん(柴田町老人クラブ連合会長)・相原 美由紀さん(柴田町地域包括支援センター管理者)・澁谷 克さん(槻木地域包括支援センター管理者)・加茂 三弥さん(柴田町社会福祉協議会次長)・大庭 三余子さん(柴田町社会福祉協議会生活支援コーディネーター)

第1回(9月26日)

8月の改選後、初の会議。「柴田町の高齢者の現状」について情報共有し、「今後、高齢者(要支援者)になった時の困りごと」について意見交換を行いました。

地域の担い手や地区行事への参加者減少、認知症や移動の問題への意見がありました。

第2回(12月20日)

第1回の意見交換を踏まえて現在の「移動の問題」、そして10年後の「生活課題」を各委員で話し合い、「柴田町に合った移動手段はどのようなものか」を話し合いました。なお、この「テーマ」は次年度も継続し、より具体化・可視化に向けて展開していきます。



問 協議体等への問合せ先/柴田町福祉課長寿介護班 Tel. 0224-55-2159